

平成22年度 環境目標 達成状況報告書 (部局別)

環境基本計画基本目標	施策テーマ	環境目的	No.	基本計画目標コード	環境目標(部局別)	実施担当	達成状況概要		実施状況		
							全期		測定項目		年合計
循環型社会の構築	廃棄物の発生抑制	ごみの実態把握及び計画的な減量化	1	111	市民一人あたりの家庭系一般廃棄物の可燃ごみ量を 134kg/年以下にする。	生活環境課	【未達成】 ごみ処理量は昨年度比5.6%減少した。可燃ごみ市民一人あたりの年間排出量136.8kg。	・ごみ処理量(可燃、不燃、資源)(kg)	117,942,980		
			2	112	事業系一般廃棄物の可燃ごみ量を 37,618t/年以下にする。	生活環境課	【達成】 昨年と比較し、4.6%減少した。事業系一般廃棄物の可燃ごみ量37,380t	・事業系一般廃棄物の可燃ごみ量(kg)	37,380,370	136.8	
			3	114	ながのエコ・サークル認定件数を累計236件にする。	生活環境課	【未達成】 新たに4事業所を認定し、累計231件となった。	・エコ・サークル認定事業所数(該当期)	4		
							・エコ・サークル認定事業所数(累計)	231			
			4	115	生ごみ減量講習会へのアドバイザー派遣回数を前年度の64回以上にする。	生活環境課	【達成】 生ごみ減量講習会へのアドバイザー派遣は、66回であった。	・生ごみ減量アドバイザー派遣回数(生ごみ減量講習会)	24		
					・講習会受講者数(人)	480					
					・生ごみ減量アドバイザー派遣回数(段ボール堆肥講座)	42					
					・実践講座受講者数(人)	817					
					・可燃ごみに占める生ごみの割合(%)	36.6					
					・生ごみ処理機器購入者補助の交付件数	509					
				・大型生ごみ処理機による生ごみ処理量(kg)	5,410.87						
再資源化	資源回収の促進	6	121	リサイクル率を28.9%以上にする。	生活環境課	【達成】 リサイクル率は、28.9%であった。	・ごみのリサイクル率(%)	28.9			
		7	122	集団資源回収量を15,605t/年以上にする。	生活環境課	【未達成】 集団資源回収量は、15,234tであった。	・資源物集団回収量(kg,該当期)	15,234,408			
						・可燃ごみ、不燃ごみ、資源物回収量(t)	117,943				
				・可燃ごみに占める紙類の割合(%)	13.7						
再生利用促進のための取組み		9		下水汚泥有効利用率を95%以上にする。	下水道施設課	【達成】 下水汚泥有効利用率は、100%であった。	・汚泥有効利用量(%)	100			
						・汚泥発生量(汚泥ケーキ)(t)	18,425.95				
						・汚泥ケーキ焼却量(t)	14,761.72				
						・汚泥緊急搬出量(有効利用)(t)	1,781.47				
						・汚泥搬出量(上流処理区終末処理場 有効利用)(t)	1,882.76				
						・汚泥緊急搬出量(埋立処分)(t)	0				
						・汚泥焼却灰搬出量(有効利用)(t)	475.06				
						・汚泥焼却灰搬出量(埋立処分)(t)	0				
廃棄物の適正処理	ごみ出しルールの徹底	10	132	不法投棄パトロールを300回/年以上行う。	生活環境課	【達成】 不法投棄パトロール回数は、491件であった。	・パトロール回数	491			
						・パトロールによる不法投棄回収件数(件)	2,545				
						・パトロールによる不法投棄廃棄物回収量(kg)	197,915				
良好な生活環境の確保	環境汚染対策	生活排水対策等による水質汚濁の防止	11	215	下水道整備面積を172.359haにする。	下水道建設課	【未達成】 ・下水道整備面積は、145,880haであった。	・公共下水道事業(東部処理区)整備面積(ha)	5,638		
							同整備率(%)	399.3			
					・流域関連 (下流処理区) 同整備率(%)	5,618					
					・流域関連 (上流処理区) 同整備率(%)	114.3					
					・特定環境保全 (飯綱処理区) 同整備率(%)	75.2					
				・特定環境保全 (下流処理区) 同整備率(%)	0.33						
				・特定環境保全 (下流処理区) 同整備率(%)	31.6						
				・合計 同整備率(%)	111.1						
				・合計 同整備率(%)	145.880						
				・立入検査件数	84.6						
				・浄化槽整備区域内における合併浄化槽の設置基数	1,959						
				・合併浄化槽整備率(%)	38.88						
				・立入検査件数	44						
身近な生活環境の保全	環境美化に関する意識の啓発及び指導の徹底	13	222	ポイ捨て吸殻本数を100本以下にする。	環境政策課	【未達成】 ポイ捨て吸殻本数は106本であった。	・ポイ捨て吸殻本数(本、当該期間平均)	106			
		14	221	放置自転車撤去台数(長野駅善光寺付近)を1,200台以下にする。	交通政策課	【達成】 放置自転車撤去台数は、716台であった。	・撤去台数(年累計)	716			
						・引渡し台数	470				
						・引渡し率	65.6				
						・一時保管場所への移送台数	273				
						・リサイクル台数	12				

環境基本計画基本目標	施策テーマ	環境目的	No.	基本計画目標コード	環境目標(部局別)	実施担当	達成状況概要		実施状況	
							全期	測定項目	年合計	
質の高い自然環境の確保	生物多様性の確保	生態系の保全による生物多様性の確保	15	311	長野市自然環境保全地域等指定箇所を3箇所(累計)にする。	環境政策課	【達成】 長野市自然環境保全地域等指定箇所は3箇所(累計)である。	・自然環境保全推進委員活動報告(件) ・自然環境保全推進委員人数 ・環境審議会自然環境調査専門部会開催回数(回) ・自然環境保全地域等指定箇所(箇所/年) ・外来種駆除	43 20 4 0 2	
			16	312	希少動植物保護事業対象種を4種にする。	環境政策課	【未達成】 希少動植物保護事業対象種は、累計3種(オオムラサキ、モリアオガエル、シナイモツゴ)であった。	・希少動植物保護事業対象種(累計) ・モリアオガエル生態調査実施結果(卵塊数) ・シナイモツゴ保護数	3 46 5	
	森林・農地の保全と農林業の活性化	里山の保全 森林資源の保全・活用	17	321	森林面積の52,630haを維持する。	森林整備課	【達成】 ・森林面積は52,630haとなった。	・間伐事業補助金交付件数	7	
			18	323	間伐面積を480ha行う。	森林整備課	【達成】 ・間伐面積は488.26haであった。	・間伐面積(当年累計) ・森林面積	488.26 52,630	
		19	324	森林体験参加者数1,000人以上を維持する。 (平成21年度 1,500人以上)	森林整備課	【達成】 森林体験参加者は2,772人であった。	・森林体験学習の開催数(市民) ・森林体験学習の参加者数(市民) ・森林体験学習の開催数(小学校) ・森林体験学習の参加者数(小学校) ・参加者数合計	20 896 20 1,876 2,772		
	農地の適正な維持管理	20	322 325	市民農園利用率を80%以上とする。	農政課	【達成】 利用率は85.1%であった。	・市民農園区画数 ・利用区画数 ・市民農園利用率(%)	363 309 85.1		
快適な環境の創造	身近な緑の保全と創出	市街地における緑の保全、創出の推進による、郊外へつながる緑のネットワークの形成	21	411	市民一人あたりの都市公園面積を7.4㎡以上にする。	公園緑地課	【未達成】 市民一人あたりの都市公園面積は、7.29㎡であった。	・緑化木の配布(本)(該当期) ・街路樹植栽延長(m)(該当期) ・都市公園面積増加分(㎡) ・都市公園整備面積(累計ha) ・一人あたり公園面積(㎡)	30,526 946.7 20,800 282.38 7.29	
			22	413 414	公園愛護会設立団体数を累計620団体以上にする。 街路樹愛護会設立団体数を累計33団体以上にする。	公園緑地課	【達成】 公園愛護会設立団体数は、累計630団体であった。 街路樹愛護会設立団体数は、累計66団体であった。	・公園愛護会設立団体数(該当期) ・公園愛護会設立団体数(累計) ・街路樹愛護会設立団体数(該当期) ・街路樹愛護会設立団体数(累計) ・事業所緑化補助金件数 ・保存樹木等管理補助件数 ・保存樹木等樹医診断・大規模剪定補助件数	13 630 11 66 5 139 12	
	良好な水辺の形成	節水や雨水利用等、水の有効利用の促進	24	422	雨水貯留施設を200基以上設置する。	河川課	【未達成】 雨水貯留施設設置数は173基であった。	雨水貯留施設設置数(当年累計) (うち浄化槽転用)	173 14	
			25	423 26	親水水路延長を50m以上にする。 雨水事業整備面積を220ha以上にする。	河川課	【達成】 親水水路延長は73mであった。 【達成】 雨水事業整備面積は295haであった。	・雨水幹線整備延長(m)累計 ・雨水事業整備面積(ha)当該年度 ・水路改修工事 箇所数(累計) ・親水水路延長(m)当該年度累計	1,179 295 176 73	
	良好な街並みの形成	景観法に基づく取組み強化及び良好な景観形成に対する市民意識の啓発	27	431	景観形成市民団体の認定数を累計8団体にする。 新規団体認定に向け、地元説明会等を行う。	まちづくり推進課	【未達成】 景観形成市民団体の認定数は、累計6団体であった。	・景観賞表彰作品めぐり参加人数 ・景観賞表彰候補作品応募件数 ・景観形成市民団体認定件数(今年度) ・景観形成市民団体認定件数(累計) ・景観形成市民団体への助成件数 ・デザインフォーラムの参加人数	34 45 0 6 0 210	
			28	433 29	434	指定等文化財件数を累計420件以上にする。 埋蔵文化財件数を累計750件にする。	文化財課	【達成】 ・指定等文化財件数は累計442件となった。 【達成】 ・埋蔵文化財件数は累計878件となった。	・指定等文化財件数 ・指定等文化財件数(累計) ・埋蔵文化財件数 ・埋蔵文化財件数(累計) ・文化財パトロール件数 ・地方文化財保護審議会の開催 同審議件数 ・伝統環境保存区域内行為届出受理(件数) ・伝統環境保存事業補助金の交付(件数) ・文化財指定候補物件の調査(件数)	4 442 0 878 85 2 3 4 0 2
		30	432	電線地中化延長(善光寺、松代地区):350mにする。	まちづくり推進課	【未達成】 ・電線地中化延長は0mであった。 ・現在、敷設工事等が引き続き行われている。	・電線地中化延長 ・善光寺周辺地区での助成相談件数 ・松代地区での助成相談件数 ・善光寺地区での助成実施件数 ・松代地区での助成実施件数 ・松代地区での道路美装の準備・実施	0 9 7 7 5 1		
		31	—	歴史的・文化的環境、まち並みの保存を進めるため、22年度中に1路線、340m整備する。	都市計画課	【達成】 松代地区歴史的の道すじ整備事業 ・代官町西条線L=440m	松代地区歴史的の道すじ整備事業 ・代官町西条線 L=340m	L=440m		
		環境に配慮した都市基盤の整備の推進とコンパクトシティの実現		32	435	土地区画整理事業実施済箇所、面積 市施行 累計6箇所 91.7ha 組合施行 累計41箇所 691.3ha	区画整理課	【達成】 土地区画整理事業実施済箇所、面積は、市施行 累計6箇所、91.7ha 組合施行 累計41箇所、691.3ha であった。	・市施行箇所(累計箇所) ・市施行箇所整備面積(累計ha) ・組合施行箇所(累計箇所) ・組合施行箇所整備面積(累計ha)	6 91.7 41 691.3
	33			436	駅周辺第二土地区画整理事業について、仮換地指定率+5%、解体棟数70棟にする。	駅周辺整備局	【未達成】 仮換地指定率は+4.78%であった。解体棟数は71棟であった。	・仮換地指定率(累計・%) ・整備率(累計・%)	77.77 (+4.78) 71	

環境基本計画基本目標	施策テーマ	環境目的	No.	基本計画目標コード	環境目標(部局別)	実施担当	達成状況概要		実施状況				
							全期	測定項目	年合計				
地球温暖化の防止	省エネルギーの推進	日常的な省エネルギー行動の取り組み	34	514	ESCO(エスコ)事業導入施設数を5施設にする。	環境政策課	【未達成】 ESCO事業導入施設は1施設であった。 ・施設 長野運動公園 ・エネルギー削減量10,426GJ	・ESCO事業導入施設数	1	10,426	30,807		
			35	—	切り替える庁用車のうち低公害車両の年次導入割合を70%以上にする。	管財課	【達成】 切り替える庁用車のうち低公害車両の導入率は、100%だった。	・ハイブリッド車・電気自動車導入台数 ・ハイブリッド車・電気自動車保有台数(累計) ・天然ガス車導入台数 ・天然ガス車保有台数(累計) ・低燃費・低排出ガソリン車導入台数 ・低燃費・低排出ガソリン車・その他保有台数(累計) ・低公害車以外導入台数 ・低公害車以外保有台数(累計) ・切替庁用車のうち低公害車導入率(%) ・全庁用車台数の低公害車導入率(%)	2 8 0 23 32 181 5 466 100% 31.3%				
		計画的な交通基盤の整備、マイカーの使用抑制と公共交通機関の利用促進	36	513	流入自動車交通量を30,000台以下にする。	交通政策課	【その他】 流入自動車交通量及び一人乗りマイカー率に関する調査は、平成22年度実施していない。	・市街地循環バス「ぐるりん号」利用者数	209,063				
			37	513	一人乗りマイカー率を76%以下にする。	交通政策課		・P&BR(御開帳等開催時)駐車場駐車台数 ・乗合タクシー等利用者数 ・地域循環コミュニティバス利用者数 ・市営バス利用者数 ・実証運行利用者数(10路線) ・流入自動車交通量 ・一人乗りマイカー率	1,018 16,487 31,376 119,198 13,922 — —				
			38	—	自動車交通の円滑化により、交通渋滞を緩和する。 バイパス6路線、計画延長4.2kmを整備する。	道路課	【達成】 バイパス整備、6路線、延長4.2kmを完了した。	・バイパス6路線の延長(km)	4.2				
			39	—	道路交差点における歩車道の段差を累計211箇所以上解消する。	道路課	【達成】 歩車道の段差解消は、平成22年度累計で219箇所完了した。	・計画の樹立 段差解消箇所(22年度 箇所) 段差解消箇所(22年度まで 累計箇所)	30 219				
			40	—	自転車道を延長1.2km以上整備する。	道路課	【達成】 ・市道長野運動公園通り線は、1.4km(既存部分の拡幅、植栽、カラー舗装等)整備した。 ・市道上松吉田線の整備は、0mであった(平成23年度1.2km整備)。	・自転車道整備(22年度 km)	1.4				
			41	—	沿道騒音の軽減、交通渋滞の緩和のため、街路4路線640m整備する。	都市計画課	【達成】 街路4路線の整備に着手し、L=729m完了した。	・中央通り歩行者優先道路計画の実施 勉強会3回、詳細設計L=700m 街路4路線 ・山王栗田線(道路改良工事L=270m) ・栗田安茂里線(道路改良工事L=370m) ・返目浅川線(橋台工事) ・北部幹線(用地買収・設計業務委託) ・長野駅善光寺口整備(詳細設計)	L=270m完了 L=370m完了 L=89m完了 用地買収・地元説明会 繰越				
		地球温暖化の防止	新エネルギーの利活用	住宅・事業所・公共施設への太陽光、水力、バイオマス等新エネルギーの導入	42	521	太陽光発電(住宅用)の発電量を8,800kW以上にする。	環境政策課	【達成】 太陽光発電(住宅用)の発電量は、12,056.31kwであった。	・住宅用太陽光発電システム補助基数(該当期)	1,042		
					43	522 528	太陽光発電(公共施設・事業所等)、風力発電・中小水力発電の導入を支援する。	環境政策課	【達成】 公共施設への太陽光発電設備の導入数は21となった。	・太陽光発電量kw(住宅用・該当期) ・太陽光発電量kw(住宅用・累計)	4,301.89 12,003.09		
44	—			バイオマスタウン構想推進協議会を設置する。	環境政策課	【達成】 バイオマスタウン構想推進協議会を設置した。	・太陽光発電(公共施設・kw)H20以降 ・風力発電・中小水力発電(公共施設・kw) ・太陽光発電導入数(公共施設・件)H20以降 ・風力発電・中小水力発電導入数(公共施設・件)	314 6.7 21 1					
45	511 512			長野市地球温暖化防止活動推進センターを設置する。	環境政策課	【達成】 長野市地球温暖化防止活動推進センターを設置した。	・推進協議会担当打合せ ・関係課打合せ ・産業振興課打合せ	随時 4 7					
			エネルギーの適正利用と吸収源対策				【達成】 長野市地球温暖化防止活動推進センターを設置した。	・開設記念講演会 ・地域講習会	1 4				

環境基本計画基本目標	施策テーマ	環境目的	No.	基本計画目標コード	環境目標(部局別)	実施担当	達成状況概要		実施状況	
							全期	測定項目		年合計
環境の保全と創造のための仕組みづくり	協市民の仕組、事業者、行政の仕組、事業者、行政の仕組	各主体の環境保全に向けた取組みと協働体制の整備	46	611	「アジェンダ21ながのー環境行動計画」推進プロジェクト数を28とする。	環境政策課	【未達成】	・実施(推進)プロジェクト数 ・プロジェクトチーム数 ・新規会員数 ・会員数 ・総会・幹事会開催数 ・スペシャルプロジェクトミーティング開催 ・ワークショップ開催数	14 13 14 111 12 7 2	
							推進プロジェクトは14であった。			
環境教育及び環境学習の推進	環境教育・環境学習プログラムの拡充及び環境教育の場の整備とその活用	環境教育・環境学習を運営する人材の育成及び体制の整備	47	-	市内の全小中高等学校に学校版EMSを導入する。	環境政策課	【未達成】	・取り組み希望申請枚数 (累計) ・認定証発行学校数 (累計)	0 12 2 9	
							学校版EMSを導入した学校は9校であった。			
環境教育及び環境学習の推進	環境教育・環境学習を運営する人材の育成及び体制の整備	環境学習会参加者数を25人/年以上とする。	48	-	全公民館で環境学習を実施する。	公民館	【達成】	・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人)	1,015 15,096	
							全公民館で環境学習を実施した。			
環境教育及び環境学習の推進	環境教育・環境学習を運営する人材の育成及び体制の整備	環境学習会参加者数を25人/年以上とする。	48	-	環境学習会参加者数を25人/年以上とする。	城山公民館	【未達成】	・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人)	1 22	
							環境学習会(タカの渡り観察)の参加者数は22人であった。			
環境教育及び環境学習の推進	環境教育・環境学習を運営する人材の育成及び体制の整備	環境学習会参加者数150人/年以上とする。	48	-	環境学習会参加者数150人/年以上とする。	中部公民館	【達成】	・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人) ・ペットボトル回収量(kg)	3 132 388.15	
							環境学習会(自然観察、省エネ等)の参加者は132人であった。			
環境教育及び環境学習の推進	環境教育・環境学習を運営する人材の育成及び体制の整備	環境学習講座を1回以上開催する	48	-	環境学習講座を1回以上開催する	芹田公民館	【達成】	・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人)	2 93	
							環境学習会(森林体験、ガーデニング)を2回開催した。			
環境教育及び環境学習の推進	環境教育・環境学習を運営する人材の育成及び体制の整備	環境講座1回・エコ学習4回開催	48	-	環境講座1回・エコ学習4回開催	古牧公民館	【達成】	・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人)	9 126	
							環境講座1回、エコ学習8回(エコバッグ・牛乳パックいす作り等)をそれぞれ開催した。			
環境教育及び環境学習の推進	環境教育・環境学習を運営する人材の育成及び体制の整備	環境学習会参加者数109人/年以上とする。	48	-	環境学習会参加者数109人/年以上とする。	三輪公民館	【達成】	・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人)	6 183	
							環境学習会(講演、体験活動、エコバッグ作り)の参加者は183人であった。			
環境教育及び環境学習の推進	環境教育・環境学習を運営する人材の育成及び体制の整備	環境学習会を実施する環境学習会参加者数35人/年	48	-	環境学習会を実施する環境学習会参加者数35人/年	吉田公民館	【未達成】	・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人)	1 32	
							環境学習会(自然観察会)の参加者は32人であった。			
環境教育及び環境学習の推進	環境教育・環境学習を運営する人材の育成及び体制の整備	環境学習会参加者数20人/年以上とする。	48	-	環境学習会参加者数20人/年以上とする。	古里公民館	【達成】	・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人)	1 36	
							環境学習会(自然観察会)の参加者数は36人であった。			
環境教育及び環境学習の推進	環境教育・環境学習を運営する人材の育成及び体制の整備	環境学習会参加者数29人/年以上とする。	48	-	環境学習会参加者数29人/年以上とする。	柳原公民館	【達成】	・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人)	7 2,318	
							環境学習会(アイドリングストップ、生物観察会等)の参加者数は2,318人であった。			
環境教育及び環境学習の推進	環境教育・環境学習を運営する人材の育成及び体制の整備	公民館の学級・講座のなかで環境学習を実施する。	48	-	公民館の学級・講座のなかで環境学習を実施する。	浅川公民館	【達成】	・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人)	15 321	
							環境学習(ごみの分別、地区内見学等)を実施した。			
環境教育及び環境学習の推進	環境教育・環境学習を運営する人材の育成及び体制の整備	環境学習会参加者数を1100人/年以上とする。	48	-	環境学習会参加者数を1100人/年以上とする。	大豆島公民館	【達成】	・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人)	9 1,137	
							環境学習会(エコバッグ作り、菊栽培等)の参加者は1,137人であった。			
環境教育及び環境学習の推進	環境教育・環境学習を運営する人材の育成及び体制の整備	環境に関する年間講座5回以上・現地学習を入れる	48	-	環境に関する年間講座5回以上・現地学習を入れる	朝陽公民館	【達成】	・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人)	11 325	
							環境学習(自然観察会(現地学習)、布ぞうり作り等)を11回実施した。			
環境教育及び環境学習の推進	環境教育・環境学習を運営する人材の育成及び体制の整備	環境に関する講座2回以上開催、前年度(115人)以上の参加者数	48	-	環境に関する講座2回以上開催、前年度(115人)以上の参加者数	若槻公民館	【未達成】	・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人)	2 107	
							環境学習会(三登山講座)を2回開催し、参加者数は107人であった。			
環境教育及び環境学習の推進	環境教育・環境学習を運営する人材の育成及び体制の整備	5回以上の環境に関する講座開催	48	-	5回以上の環境に関する講座開催	長沼公民館	【達成】	・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人)	10 110	
							環境学習会(菊づくり、エコバッグ等)を10回開催した。			
環境教育及び環境学習の推進	環境教育・環境学習を運営する人材の育成及び体制の整備	環境学習会参加者数を130人/年以上とする。	48	-	環境学習会参加者数を130人/年以上とする。	安茂里公民館	【達成】	・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人)	6 199	
							環境学習会(自然体験、省エネ)の参加者数は199人であった。			
環境教育及び環境学習の推進	環境教育・環境学習を運営する人材の育成及び体制の整備	環境学習会参加者数を260人/年以上とする。	48	-	環境学習会参加者数を260人/年以上とする。	小田切公民館	【達成】	・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人)	22 421	
							環境学習会(親子遠足等)の参加者数は421人であった。			
環境教育及び環境学習の推進	環境教育・環境学習を運営する人材の育成及び体制の整備	環境に関する講座2回開催	48	-	環境に関する講座2回開催	芋井公民館	【達成】	・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人)	2 114	
							環境学習会(ホテル観察、星空学習)を2回開催した。			
環境教育及び環境学習の推進	環境教育・環境学習を運営する人材の育成及び体制の整備	環境学習会への参加者を300人以上とする。	48	-	環境学習会への参加者を300人以上とする。	篠ノ井公民館	【達成】	・成人学校講座の延べ実施回数(回) ・成人学校講座参加者数(人) ・篠ノ井公民館利用団体数 ・篠ノ井公民館利用回数 ・篠ノ井公民館利用人数	616 979 1,348 3,181 46,037	
							環境学習会(成人学校講座)の参加者数は979人であった。			

環境基本計画基本目標	施策テーマ	環境目的	No.	基本計画目標コード	環境目標(部局別)	実施担当	達成状況概要		
							全期	実施状況	
							測定項目	年合計	
					環境学習会参加者数を850人/年以上とする	松代公民館	【達成】 環境学習会(清掃センター見学等)の参加者数は1,566人であった。	<ul style="list-style-type: none"> ・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人) ・市民講座「環境教育講座」受講者 ・園芸科受講者 ・利用団体説明会等利用者 	16 519 79 20 948
					環境に関する講座を開催する講座開催時に環境学習を実施する	若徳公民館	【達成】 環境に関する講座(エアコン節電、ゴミ持帰り等)を開催した。	<ul style="list-style-type: none"> ・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人) 	91 1,678
					環境に関する講座を4講座開催する。講座への参加者100人	川中島町公民館	【達成】 環境に関する講座(成人学校、女性教室、高齢者教室等)を4回以上開催し、参加者数は1,995人であった。	<ul style="list-style-type: none"> ・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人) 	87 1,995
					環境に関する講座の実施。参加人数200人。	東北公民館	【達成】 環境に関する講座(里山歩き等)の参加者数は523人であった。	<ul style="list-style-type: none"> ・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人) 	2 523
					環境学習会参加者数をのべ50人/年以上とする。	七二会公民館	【達成】 環境学習会(苔玉づくり、リースづくり等)の参加者数は68人であった。	<ul style="list-style-type: none"> ・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人) 	4 68
					環境学習会を3回/年、50人/年	信更公民館	【達成】 環境学習会(ホテル学習会、星を見る会)を3回開催し、参加者数は64人であった。	<ul style="list-style-type: none"> ・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人) 	3 64
					環境に関する講座4回以上開催	豊野公民館	【達成】 環境に関する講座(菊づくり、マイ帽子づくり等)を10回開催した。	<ul style="list-style-type: none"> ・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人) ・ほたる鑑賞会 ・ほたる鑑賞会参加者数 ・植物観察等 ・植物観察等参加者数 	10 103 1 60 2 58
					環境学習会を開催する。環境学習会参加者を前年度並みの400人とする。	戸隠公民館	【達成】 環境学習会(トガクシヨウマ栽培、ゴミ減量・分別)の参加者数は1,371人であった。	<ul style="list-style-type: none"> ・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人) 	36 1,371
					環境学習会参加者数を220人/年以上とする	鬼無里公民館	【達成】 環境学習会(自然探検、節電、ゴミ削減等)の参加者数は254人であった。	<ul style="list-style-type: none"> ・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人) 	11 254
					環境学習会参加者数を150人/年以上とする	大岡公民館	【達成】 環境学習会(菊づくり、手芸等)の参加者数は169人であった。	<ul style="list-style-type: none"> ・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人) 	22 169
					環境学習会参加者数を300人/年以上とする。	信州新町公民館	【達成】 環境学習会(薬草講座、エコバッグづくり等)の参加者数は367人であった。	<ul style="list-style-type: none"> ・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人) 	5 367
					環境に関する学習講座を、複数世代を対象に3回実施する。	中条公民館	【達成】 環境に関する学習講座を5回実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ・講座等の延べ実施回数(回) ・講座等参加者数(人) 	5 328
			49	621	子どもエコクラブ数及び会員数を56クラブ、560人以上にする。	環境政策課	【達成】 子どもエコクラブ数は50クラブ、会員は980人であった。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもエコクラブ数(累計) ・子どもエコクラブ会員数(累計) 	50 980
			50	—	環境教育指導者を養成する。	環境政策課	【達成】 教職員及び環境学習リーダーへ研修会を実施し、指導者として養成した。	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修講座出席者数 ・環境学習リーダー研修会出席者数 	67 21
循環型社会の構築、質の高い自然環境の確保、快適な環境の創造	廃棄物の発生抑制	環境に配慮した公共工事の実施	51	—	公共工事率先実行計画を実践する。	長野市建設技術委員会委員	【達成】 公共工事率先実行計画を実践した。	<ul style="list-style-type: none"> ・実施率(%) ・環境配慮率(%) 	100 80.0~100
地球温暖化の防止	省エネルギーの推進	電力使用量の削減	52	—	売電量を向上させ、1,065,000 kWh以上にする。(前年度比約125%)	清掃センター	【達成】 売電量は、1,609,956 kWhであった。	<ul style="list-style-type: none"> ・電力使用量(売電量)(kwh) ・電力使用量(買電量)(kwh) ・蒸気タービン発電電力量(kwh) ・太陽光発電電力量(kwh) ・所内電力量(kwh) ・売電量年間目標達成率(%) * 積算 ・最終処分場電力使用量(kwh) ・最終処分場埋立量(t) 	1,609,956 499,320 11,983,250 33,597 10,872,614 365 125,173

環境基本計画基本目標	施策テーマ	環境目的	No.	基本計画目標コード	環境目標(部局別)	実施担当	達成状況概要		実施状況		
							全期	測定項目	年合計		
			53	-	電力使用量を前年度比1%削減する。	第一学校給食センター	【未達成】 電力使用量は、506,778kwhとなり、前年度482,093kwhを上回った(105.1%)。	・電力使用量(kwh)	506,778		
						第二学校給食センター	【達成】 電力使用量は、977,552kwhで、前年度987,518kwhを下回った(99.0%)。	・電力使用量(kwh)	977,552		
						第三学校給食センター	【未達成】 電力使用量は、433,273kwhとなり、前年度402,830kwhを上回った(107.8%)。	・電力使用量(kwh)	433,273		
			燃料使用量の削減	54	-	燃料使用量を前年度比1%削減する。	第一学校給食センター	【未達成】 ・重油使用量は、前年度比103.3% ・LPG使用量は、前年度比98.9% ・水道使用量は、前年度比102.5%	・重油使用量(%) ・LPG使用量(m ³) ・水道使用量(m ³)	217,000 4,581 30,223	
							第二学校給食センター	【未達成】 ・都市ガス使用量は、前年度比104.8% ・水道使用量は、前年度比105.1%	・都市ガス使用量(m ³) ・水道使用量(m ³)	385,569 41,864	
							第三学校給食センター	【未達成】 ・重油使用量は、前年度比98.1% ・LPG使用量は、前年度比99.2% ・水道使用量は、前年度比73.0%	・重油使用量(%) ・LPG使用量(m ³) ・水道使用量(m ³)	205,500 4,798 26,414	
			循環型社会の構築	廃棄物の発生抑制	55	-	1食あたりの生ごみ排出量を前年度同量以下に抑制する。	第一学校給食センター	【未達成】 一食あたりの生ごみ排出量は、43.64g/食、前年度比102.7%であった。	・給食数(食) ・生ごみ排出量(kg) ・1食あたりの生ごみ排出量(g/食) ・廃食用油排出量(%) ・汚泥排出量(%)	2,337,789 102,027 43.64 7,620 378,000
								第二学校給食センター	【達成】 一食あたりの生ごみ排出量は、47g/食、前年度比100.0%であった。	・給食数(食) ・生ごみ排出量(kg) ・1食あたりの生ごみ排出量(g/食) ・廃食用油排出量(%) ・汚泥排出量(%)	1,694,986 79,372 47 4,680 293,220
								第三学校給食センター	【達成】 一食あたりの生ごみ排出量は、34.36g/食、前年度比77.4%であった。	・給食数(食) ・生ごみ排出量(kg) ・1食あたりの生ごみ排出量(g/食) ・廃食用油排出量(%) ・汚泥排出量(%)	2,432,333 83,564 34.36 5,850 208,660
地球温暖化の防止	省エネルギーの推進	電力使用量の削減	56	-	電力使用量を前年度比1%削減する。	浄水課(犀川浄水場)	【達成】 前年度比95.3%であった。	・電力使用量(kwh)(犀川) ・取水量(m ³)(犀川) ・浄水生産量(m ³)(犀川) ・原単位(kwh/m ³)(犀川)	7,391,858 11,936,217 12,454,431 0.594		
						浄水課(夏目ヶ原浄水場)	【達成】 前年度比86.9%であった。	・電力使用量(kwh)(夏目) ・取水量(m ³)(夏目) ・浄水生産量(m ³)(夏目) ・原単位(kwh/m ³)(夏目)	1,171,135 8,495,038 8,246,663 0.142		
	電力使用量の削減 燃料使用量の削減	57	-	エネルギー使用量を前年度比1%削減する。(H21:2845)	下水道施設課	【未達成】 エネルギー使用量は、2,884klであり、前年度比101.4%であった。	・原油換算エネルギー使用量(kl)(指定工場記録) ・流入水量(千m ³) ・省エネ原単位(kl/千m ³)	2,884 19,772 0.14			
						紙類の使用量の削減	58	-	コピー用紙の購入量を前年度と同量以下に抑制する。	全所属(ガソリン以外は、全公民館及び全給食センターを除く)	【未達成】 前年度比108.6%であった。
	電力使用量の削減	59	-	庁舎の電力使用量を前年度比1%削減する。	全所属	【未達成】 前年度比113.6%であった。	・電力使用量(kwh)	5,540,532			
						燃料使用量の削減	60	-	庁舎の燃料(灯油)使用量を前年度比1%削減する。	【未達成】 前年度比106.2%であった。	・灯油使用量(%)
	排出ガスの発生抑制	61	-	庁舎の燃料(LPG)使用量を前年度比1%削減する。	全所属	【未達成】 前年度比103.3%であった。	・LPG使用量(m ³)	1,183			
						62	-	庁舎の燃料(都市ガス)使用量を前年度比1%削減する。	【未達成】 前年度比148.4%であった。	・都市ガス使用量(m ³)	143,120
						63	-	庁舎の燃料(重油)使用量を前年度比1%削減する。	【達成】 前年度比98.6%であった。	・重油使用量(%)	40,428
	自動車燃料使用量の削減	64	-	庁用車の燃料使用量(ガソリン)を前年度比1%削減する。	全所属	【未達成】 前年度比107.5%であった。	・ガソリン使用量(%)	269,019			
	自動車排出ガスの発生抑制	65	-	庁用車の燃料(軽油)使用量を前年度比1%削減する。	全所属	【未達成】 前年度比110.0%であった。	・軽油使用量(%)	56,038			